

臨床放射線

編集委員

今井 裕
後閑 武彦
栗原 泰之
橋本 順
森 壘
中村 和正

編集協力委員

畠中 正光
小川 恭弘
松永 尚文
森 宣
村田 喜代史
淡河 恵津世
西山 佳宏

編集後記

▶ 今月の号内特集はFDGの保険収載20周年についてです。20世紀で最高傑作のトレーサともいわれる ^{18}F -FDGは、今や最も重要な放射性医薬品としての地位を確立し、FDG-PET/CTは我々の日常臨床、特にがんのステージングや再発の診断にはなくてはならない検査になっています。今わたしはシカゴで開催された米国核医学会からの帰りの機内でこの編集後記を書いています。シカゴではFDGを使用した大型血管炎の診断について教育講演を行ってきました。悪性腫瘍のみならず炎症の評価や、米国ではさらに認知症の診断にも使用され、まさに万能のトレーサです。

▶ 今から20年前の当時の状況を振り返ってみると、多くの核医学医や臨床医がこの検査に期待を寄せ、こぞってPET核医学認定医を取得するための日本核医学会の講習会を受講したことが、つい先日のように思い出されます。実際に検査を行ってみると期待を裏切らない有用性にわくわくした思い出があります。

▶ あれから20年間、核医学は新しい治療用薬剤の導入などで着実に進歩を遂げてきましたが、あのときのわくわくした感覚は核医学医として味わえていないというのが正直なところ。しかしながら今、アルツハイマー型認知症の疾患修飾薬の承認審査が最終段階のところきています。もしこれが承認されれば、アミロイドPETの保険診療での使用に道が開けると期待されます。その際にはまたかつてのように多くの医師がこぞってアミロイドPET読影講習会を受講し、多くの施設が撮像認証の取得に動くことが予想されます。20年前のあのときのわくわくした感じを味わうことができそうです。歴史は繰り返すといいますが、この歴史が繰り返してくれることに期待を寄せている今日この頃です。

橋本 順

「臨床放射線」第68巻第7号

2023年7月10日発行（毎月10日発行）

定価 2,970 円（本体 2,700 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 44,990 円（本体 40,900 円＋税 10%）

[年間13冊（臨時増刊号を含む）の誌代]

年間予約購読者に限り送料無料

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14

TEL 03 (3811) 7165 編集部直通

TEL 03 (3811) 7184 営業部直通

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社

広告申込先 文京メディカル TEL 03 (3817) 8036

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、e-mail info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。